

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	パルボウイルス B19 検査試薬の性能評価 (Parvo B19 に関する新規検査試薬の性能評価)
研究開発期間（西暦）	2023 年 4 月～2026 年 3 月
研究機関名	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
研究責任者職氏名	ヘルスケアエクセレンス本部長 金光 一瑛

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

伝染性紅斑（こうはん）、いわゆる「リンゴ病」の原因ウイルスである「パルボウイルス B19」に感染した患者の血中抗原物質（以下、Parvo B19 抗原）を検出するための試薬を開発中です。この開発にあたり、日本人献血者由来の Parvo B19 抗原陽性検体と陰性検体を用いて、測定試薬における反応性を評価検討することを目的としています。Parvo B19 は、地理的に隔たっている集団において特異的な Genotype（遺伝子型）が存在し、その一つが日本に多く確認されるため、日本人検体を用いた本研究は臨床的な見地から重要です。

この研究から得られる結果が将来、献血スクリーニング検査の性能向上に活かされることが期待されます。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：検査残余血液（血清、血漿）

献血血液の情報：Parvo B19 抗原測定結果（陽性または陰性）

検体のマトリックス情報（血清または血漿）

3 献血血液を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

Roche Diagnostics GmbH Dr. Frederik Baumkötter (ドイツ)

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

4 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》

Parvo B19 抗原陽性検体と陰性検体を開発中の試薬で測定して、試薬の感度と特異度を評価します。血清検体と血漿検体の比較と、核酸増幅法である PCR 法との同等性を評価します。

この研究のため、上記 2 の検体と情報をドイツに所在する Roche Diagnostics GmbH に提供します。

ドイツは EU 加盟国であり、日本と同等の個人情報の保護制度である「EU 一般データ保護規則 (GDPR)」を有しています。Roche Diagnostics GmbH は、これに従って行動しており、情報は個人が特定できない状態で、Parvo B19 抗原測定結果と検体のマトリックス情報のみを利用します。これ以外の情報は Roche Diagnostics GmbH に行きません。その利用はこの研究に限定されており、研究終了後は廃棄する契約を結んでいます。

また、Roche Diagnostics GmbH は、ロシュグループ共通のプライバシーポリシーおよびガイダンスに従うことで、OECD プライバシーガイドライン 8 原則に対応した個人情報の保護のための措置を講じています。

5 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記 5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

本研究に関する問い合わせ先

受付番号 R050017

所属	ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 ヘルスケアエクセレンス本部 メディカルサイエンティフィックアフェアーズグループ
担当者	吉田 雅之
電話	03-6634-1052
Mail	masayuki.yoshida@roche.com